

本年度の重点目標

～ 児童の成長のためにご理解とご協力を ～

屋代小学校は、本年度で138年を迎える伝統のある学校であり、地域から大きな期待を寄せられていると考えています。学校では、目の前にいるこの子を精一杯伸ばしていく中で、新しい伝統をつくっていきたくないと願っています。そこで、次の具体的な目標を設定し、本年度の教育活動をすすめます。

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる屋代の子ども

合言葉

笑顔いっぱい屋代

本年度の重点目標

- 1 伝え合い、響き合い、学び合い、友達の名前がたくさん出てくる授業づくり
- 2 地域の人と豊かにつながり、地域の歴史・文化や自然に学ぶ学校づくり

家庭と学校の真ん中にいる子どもをともに育てるため、教育方針をご理解いただき、学校と家庭の信頼関係をより一層強いものにしていきましょう。

伝え合い、響き合い、学び合い、友達の名前がたくさん出てくる授業づくり

授業は、先生と学級全員の力でつくり上げるもの。知識を覚えるだけではなく、自分で考え、友達の考えを聞くことで、より理解を深くしたり、活用できるものにしたりする必要があります。自分と友達が響き合う授業は、点数では推し量ることができない「人間性」の形成にもつながります。

「 さんの意見に付け足して...」「 さんの考えと少し違って...」と、友達の名前が出てくる授業は、主体的で**わかる授業・楽しい授業**となります。

本年度も石田淳一先生（横浜国立大学教授）を講師に、「考える足場をつくる算数科授業」「シナリオ指導による授業づくり」等に取り組みます。

また、学んだことを定着させていくためには、繰り返しのドリル学習等も必要になります。新学習指導要領において厚くなった教科書、増えた学習内容に対応するため、**朝ドリルの全面改訂**にも取り組んでいます。

学力・体力の向上、よりよい生活習慣の向上のため、家庭でも、次のご指



ICT 機器も活用した授業

導をお願いします。毎日続けることで、習慣としたいものです。

学校に持っていくものを、前日かその日の朝に確かめましょう。

スイッチを切って、家庭学習・家庭読書に取り組みましょう。



地域の人と豊かにつながり、地域の歴史・文化や自然に学ぶ学校づくり



矢代宿の
道標石柱

地域の方々とのつながりは、登下校や清掃の時間、ちょっとした校外学習等でも、うまれてくるもの。小さなことでも、見守ってもらっているという意識を持ち、地域とのつながりを大切にしたいと考えています。

そのためには、まず職員が地域を知ることだと、先日は「屋代まち歩き」(北国街道矢代宿 400 年事業)に 10 名程が参加し、鼻取り地蔵尊や本陣・脇本陣等の見学をしました。先生が屋代町を愛せば、子どもも屋代町が好きになります。

ご家庭でも地域とつながり、屋代町を愛せる子どもにしていきましょう。

外に出て、自然の中で体を動かし、存分に遊びましょう。

一緒に地域の文化財を見学するなどして、屋代の歴史を学びましょう。



13 日(水)避難訓練を実施 ~ 年度当初にあたり、基本となる避難経路を確認 ~

【学校長の話】火災は、たき火や火遊び等の原因があつて発生します。学校でも何かの原因で、火事が起きるかもしれません。今日は、児童、先生が安全に避難するための訓練でした。今年初めて、そして、1年生にとっては、学校ではじめての訓練でした。一人にたった一つの命を守る大切な訓練です。

東北を襲った地震の津波の被害がテレビで報道されていますが、日ごろの訓練がいき、子どもが一人も命を失うことなく避難ができた小中学校が多かったと聞いています。今日の様子を見ていると、「放送を聴く」「先生の指示通りに行動する」「口を開かない」がよくできていました。

消防署の方の話の聴き方、姿勢、返事もとてもよいと思いました。

まずは火災を出さないこと、いざというときには、今日の訓練をいかしてください。



学校長講評

最近の学校生活から



いただきます！

11 日(月) 1 年生給食開始

楽しみにしていた給食。先生の言うことをしっかりと聞き、準備と片付けの手順や食事のマナーを勉強しています。給食で心配な様子がありましたら、担任へご連絡ください。